

令和4年度鴨川市立国保病院運営協議会第3回会議 次第

令和5年2月9日（木）  
午後3時00分から  
鴨川市立国保病院 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算(第3号)について
- (2) 令和5年度鴨川市病院事業会計予算について
- (3) 公立病院経営強化プランの策定について
- (4) 病床機能の転換について
- (5) 病院機能評価について

4 その他

5 閉 会

---

資料

会議次第（本紙）

名簿

- 資料1-1 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算（第3号） 概要版
- 資料1-2 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算（第3号）
- 資料2-1 令和5年度鴨川市病院事業会計予算 概要版
- 資料2-2 令和5年度鴨川市病院事業会計予算
- 資料3 鴨川市立国保病院経営強化プラン骨子（案）
- 資料4 鴨川市立国保病院の病床機能の転換について
- 資料5 病院機能評価

### 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算(第3号)の概要

令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算(第3号)は、収益的収入及び支出では、収入における補助金額の増減、支出における雑支出の減額。資本的収入及び支出では、収入における出資金の減額、補助金の増額。支出における医療機器等購入費の減額。

#### ○予算の概要

#### 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算(第3号)実施計画

#### 収益的収入及び支出 (収 入)

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1	事業収益		1,374,361	△ 506	1,373,855		
	2	医業外収益	175,962	△ 506	175,456		
		2	他会計補助金	△ 779	114,540	一般会計補助金	△ 779
		6	補助金	273	273	県補助金	273

※ 2項 医業外収益 2目 他会計補助金(△779千円)は、一般会計補助金で支払利息額の確定、シンポジウム開催助成金額の確定に伴う自治総合センター助成金の減額

※ 2項 医業外収益 6目 補助金(273千円)は、県補助金の交付額確定に伴う増額(発熱外来用ユニットハウス賃借料)

#### (支 出)

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1	事業費		1,374,361	△ 506	1,373,855		
	2	医業外費用	69,757	△ 506	69,251		
		2	その他医業外費用	△ 506	54,905	雑支出	△ 506

※ 2項 医業外費用 2目 その他医業外費用の雑支出△506千円は、消費税等精算に係る減額

#### 資本的収入及び支出

#### (収 入)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1	資本的収入		36,205	△ 346	35,859		
	2	出資金	30,205	△ 2,346	27,859		
		1	出資金	△ 2,346	27,859	出資金	△ 2,346
	3	補助金	0	2,000	2,000		
		1	補助金	2,000	2,000	県補助金	2,000

※ 2項 出資金の出資金△2,346千円は、企業債元金償還金の確定に伴う増額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の事業費確定による減額(地域包括支援センター感染対策防止事業)

※ 3項 補助金の県補助金2,000千円は、千葉県新型コロナウイルス感染症対策事業補助金の交付見込みに伴う増額(汎用超音波画像診断装置)

#### (支 出)

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1	資本的支出		96,976	△ 2,827	94,149		
	1	建設改良費	44,844	△ 2,827	42,017		
		1	有形固定資産購入費	△ 2,827	42,017	医療器械等購入費	△ 2,827

※ 1項 建設改良費の医療機器等購入費△2,827千円は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の事業費確定による減額(地域包括支援センター感染対策防止事業)

## 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算（第3号）

第1条 令和4年度鴨川市病院事業会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第2条 令和4年度鴨川市病院事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

	(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
		収	入	
第1款	事業収益	1,374,361千円	△506千円	1,373,855千円
第2項	医業外収益	175,962千円	△506千円	175,456千円
		支	出	
第1款	事業費	1,374,361千円	△506千円	1,373,855千円
第2項	医業外費用	69,757千円	△506千円	69,251千円

第3条 予算第4条本文括弧書を「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額58,290千円は、過年度分損益勘定留保資金20,897千円、当年度分損益勘定留保資金37,108千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額285千円で補填するものとする。）」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

	(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
		収	入	
第1款	資本的収入	36,205千円	△346千円	35,859千円
第2項	出資金	30,205千円	△2,346千円	27,859千円
第3項	補助金	0千円	2,000千円	2,000千円
		支	出	
第1款	資本的支出	96,976千円	△2,827千円	94,149千円
第1項	建設改良費	44,844千円	△2,827千円	42,017千円

第4条 予算第9条中「150,813千円」を「150,034千円」に改める。

令和5年2月 日提出

鴨川市長 長谷川 孝夫

1) 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算(第3号)実施計画

収益的収入及び支出

収

入

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1 事業収益			1,374,361	△ 506	1,373,855		
	2 医業外収益		175,962	△ 506	175,456		
		2 他会計補助金	115,319	△ 779	114,540	一般会計補助金	△ 779
		6 補助金	0	273	273	県補助金	273

支

出

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1 事業費			1,374,361	△ 506	1,373,855		
	2 医業外費用		69,757	△ 506	69,251		
		2 その他医業外費用	55,411	△ 506	54,905	雑支出	△ 506

資本的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1 資本的収入			36,205	△ 346	35,859		
	2 出資金		30,205	△ 2,346	27,859		
		1 出資金	30,205	△ 2,346	27,859	出資金	△ 2,346
	3 補助金		0	2,000	2,000		
		1 補助金	0	2,000	2,000	県補助金	2,000

支 出

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	説明	
						節	金額
1 資本的支出			96,976	△ 2,827	94,149		
	1 建設改良費		44,844	△ 2,827	42,017		
		1 有形固定資産購入費	44,844	△ 2,827	42,017	医療器械等購入費	△ 2,827

2) 令和4年度鴨川市病院事業会計補正予算(第3号) 予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	千円	千円	千円
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益(△は純損失)	0	0	0
減価償却費	160,898	0	160,898
引当金の増減額(△は減少)	1,055	0	1,055
長期前受金戻入額	△ 10,425	0	△ 10,425
長期前払消費税の増減額(△は増加)	25,467	0	25,467
有形固定資産除却損	1,202	0	1,202
未収金の増減額(△は増加)	0	0	0
未払金の増減額(△は減少)	9,078	0	9,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	0	0	0
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>187,275</u>	<u>0</u>	<u>187,275</u>
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 44,844	2,827	△ 42,017
国庫補助金等による収入	0	2,000	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 44,844</u>	<u>4,827</u>	<u>△ 40,017</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	6,000	0	6,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 52,132	0	△ 52,132
他会計からの出資による収入	30,205	△ 2,346	27,859
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 15,927</u>	<u>△ 2,346</u>	<u>△ 18,273</u>
資金増加額	126,504	2,481	128,985
資金期首残高	251,649	0	251,649
資金期末残高	<u>378,153</u>	<u>2,481</u>	<u>380,634</u>

## 令和5年度鴨川市病院事業会計予算の概要

令和5年度は、医療機能のさらなる充実強化、地域包括ケアシステムの推進、病院の質の向上に取り組むとともに、持続可能な医療提供体制を確保するために経営改革の推進を図ることを重点に病院事業を実施するため、下記概要のとおり予算を編成した。

## 1 業務の予定量

(1) 病床数	70床		
(2) 年間患者数	入院 23,790人	外来 39,473人	(令和4年度 入院22,630人、外来34,501人)
(3) 一日平均患者数	入院 65人	外来 135人	(令和4年度 入院 62人、外来 118人)

## 2 予算の概要

## 令和5年度鴨川市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出  
(収 入)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 事業収益			1,385,337	
	1 医業収益		1,238,587	
		1 入院収益	717,796	23,790人
		2 外来収益	342,103	39,473人
		3 その他医業収益	48,006	室料差額16,390千円、公衆衛生活動(予防接種等)11,078千円、診断書等20,538千円
		4 訪問看護ステーション収益	62,266	
		5 居宅介護支援収益	13,187	介護支援専門員によるケアプラン等作成収益13,187千円
		6 訪問介護ステーション収益	16,132	
		7 地域包括支援センター収益	1,374	介護予防プラン作成収益1,374千円
		8 訪問リハビリテーション収益	1,429	
		9 他会計負担金	36,294	公立病院に対する地方財政措置(救急診療分)36,294千円
	2 医業外収益		146,750	
		1 受取利息配当金	1	預金利息
		2 他会計補助金	104,819	一般会計補助金104,019千円 ・公立病院に対する地方財政措置104,019千円 ①不採算地区病院分100,200千円 ②病院事業債利子償還金3,819千円 国民健康保険特別会計補助金800千円
		3 長期前受金戻入	15,098	
		4 負担金交付金	16,800	地域包括支援センター運営負担金等16,800千円(「福祉総合相談センター長狭」機能強化分)
		5 その他医業外収益	10,032	売店売上代等

## (支 出)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 事業費			1,385,337	
	1 医業費用		1,316,785	
		1 給与費	778,768	医師7人分、看護師39人分、医療技術員18人分、事務職員7人分、会計年度任用職員71人分
		2 材料費	77,348	薬品費24,724千円、診療材料費48,126千円、給食材料費4,429千円他
		3 経費	225,834	消耗品費4,140千円、光熱水費26,657千円、修繕費(病院施設設備等)10,581千円 電算機器賃借料等38,288千円、給食業務委託料等112,228千円、 病院機能評価事業370千円
		4 減価償却費	165,708	建物減価償却費54,119千円、器械備品減価償却費56,074千円
		5 資産減耗費	1,485	薬品廃棄、医療機器等除却費
		6 研究研修費	67,642	図書費、旅費、非常勤医師等謝金他
	2 医業外費用		68,552	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	7,891	企業債利息等
		2 その他医業外費用	56,747	売店販売品購入費、消費税精算による雑支出等
		3 消費税及び地方消費税	3,914	

資本的収入及び支出  
(収 入)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 資本的収入			48,269	
	1 企業債		12,600	
		1 企業債	12,600	企業債借入予定額12,600千円(医療機器12,600千円)
	2 出資金		35,669	
		1 出資金	35,669	一般会計繰出し基準分 病院事業債元金償還分35,669千円

## (支 出)

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 資本的支出			116,535	
	1 建設改良費		45,644	
		1 有形固定資産購入費	45,644	医療機器等購入12,685千円、リース資産購入費(病院什器類等)32,959千円
	2 企業債償還金		70,891	
		1 企業債償還金	70,891	借入企業債償還金(2期工事分、医療機器等)

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額68,266千円は、過年度分損益勘定留保資金68,086千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額180千円で補てんするものとする。

※裏面に続く

3 令和5年度鴨川市病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	154,827 千円
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 41,079 千円
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,622 千円
	<hr/>
	91,126 千円
資金増加額	91,126 千円
資金期首残高	434,707 千円
資金期末残高	525,833 千円

## 令和5年度鴨川市病院事業会計予算

(総則)

第1条 令和5年度鴨川市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1)	病	床	数	70 床						
(2)	年	間	患	者	数					
	入	院		23,790 人						
	外	来		39,473 人						
(3)	一	日	平	均	患	者	数			
	入	院		65 人						
	外	来		135 人						
(4)	主	要	な	建	設	改	良	事	業	
	建	設	改	良	費		45,644 千円			

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 事業収益		1,385,337 千円
第1項 医業収益		1,238,587 千円
第2項 医業外収益		146,750 千円
	支	出
第1款 事業費		1,385,337 千円
第1項 医業費用		1,316,785 千円
第2項 医業外費用		68,552 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 68,266千円は、過年度分損益勘定留保資金 68,086千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 180千円で補填するものとする。)

	収	入	
第1款 資本的収入			48,269 千円
第1項 企業債			12,600 千円
第2項 出資金			35,669 千円
	支	出	
第1款 資本的支出			116,535 千円
第1項 建設改良費			45,644 千円
第2項 企業債償還金			70,891 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額 (千円)	起債の方法	利率	償還の方法
医療機器整備 事業	12,600	普通貸借又は 証券発行	5.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金及び地方公共団体金融機構資金についてはその融通条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。 ただし、企業財政の都合により、据置期間及び償還期限の短縮、繰上償還並びに低利債への借換えをすることができる。
計	12,600			

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、60,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 医業費用

(2) 医業外費用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 776,528 千円

(2) 交際費 50 千円

(他会計からの補助金)

第9条 病院運営助成のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、140,313千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産購入限度額は、72,850千円と定める。

令和5年2月 日提出

鴨川市長 長谷川 孝夫

1) 令和5年度鴨川市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1 事業収益			1,385,337	
	1 医業収益		1,238,587	
		1 入院収益	717,796	
		2 外来収益	342,103	
		3 その他医業収益	48,006	
		4 訪問看護ステーション収益	62,266	
		5 居宅介護支援収益	13,187	
		6 訪問介護ステーション収益	16,132	
		7 地域包括支援センター収益	1,374	
		8 訪問リハビリテーション収益	1,429	
		9 他会計負担金	36,294	
	2 医業外収益		146,750	
		1 受取利息配当金	1	
		2 他会計補助金	104,819	
		3 長期前受金戻入	15,098	
		4 負担金交付金	16,800	
		5 その他医業外収益	10,032	

## 支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1 事業費			1,385,337	
	1 医業費用		1,316,785	
		1 給与費	778,768	
		2 材料費	77,348	
		3 経費	225,834	
		4 減価償却費	165,708	
		5 資産減耗費	1,485	
		6 研究研修費	67,642	
	2 医業外費用		68,552	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	7,891	
		2 その他医業外費用	56,747	
		3 消費税及び地方消費税	3,914	

資本的收入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1 資本的收入			48,269	
	1 企業債		12,600	
		1 企業債	12,600	企業債 12,600
	2 出資金		35,669	
		1 出資金	35,669	出資金 35,669

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備考
1 資本的支出			116,535	
	1 建設改良費		45,644	
		1 有形固定資産購入費	45,644	
	2 企業債償還金		70,891	
		1 企業債償還金	70,891	

2) 令和5年度鴨川市病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	千円
	当年度純利益 (△は純損失)	0
	減価償却費	165,708
	引当金の増減額 (△は減少)	0
	長期前受金戻入額	△ 15,098
	長期前払消費税の増減額 (△は増加)	△ 480
	有形固定資産除却損	783
	未収金の増減額 (△は増加)	0
	未払金の増減額 (△は減少)	3,914
	たな卸資産の増減額 (△は増加)	0
	業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>154,827</u>
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 41,079
	国庫補助金等による収入	0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 41,079</u>
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	12,600
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 70,891
	他会計からの出資による収入	35,669
	財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 22,622</u>
	資金増加額	91,126
	資金期首残高	434,707
	資金期末残高	<u>525,833</u>

3) 給与費明細書

1 総括

区分	職員数		給与費				法定福利費 (千円)	合計 (千円)
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	手当 (千円)	計 (千円)		
本年度	5	71 (71)	137,360	273,741	209,325	620,426	156,102	776,528
前年度	5	70 (71)	134,732	268,524	205,541	608,797	149,172	757,969
比較	0	1 (0)	2,628	5,217	3,784	11,629	6,930	18,559

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員及び会計年度任用の職を占める職員であつて、その1週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員の外書き

職員手当の内訳	区分	扶養手当 (千円)	通勤手当 (千円)	特殊勤務 手当 (千円)	夜間勤務 手当 (千円)	時間外勤務 手当 (千円)	休日勤務 手当 (千円)	管理職員 特別勤務 手当 (千円)	管理職 手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	住居手当 (千円)	宿日直 手当 (千円)	初任給 調整 手当 (千円)	合計 (千円)
	本年度	5,898	8,109	29,289	4,162	26,836	636	0	2,790	68,839	46,626	1,866	5,151	9,123	209,325
前年度	5,226	7,708	26,955	3,508	23,050	500	0	2,994	67,598	44,662	2,126	4,732	16,482	205,541	
比較	672	401	2,334	654	3,786	136	0	△ 204	1,241	1,964	△ 260	419	△ 7,359	3,784	

ア 会計年度任用職員以外の職員

区分	職員数		給与費				法定福利費 (千円)	合計 (千円)
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	手当 (千円)	計 (千円)		
本年度	5	71 (0)	125	273,741	198,370	472,236	134,069	606,305
前年度	5	70 (0)	125	268,524	195,402	464,051	127,592	591,643
比較	0	1 (0)	0	5,217	2,968	8,185	6,477	14,662

※ ()内は、再任用短時間勤務職員の外書き

職員手当の内訳	区分	扶養手当 (千円)	通勤手当 (千円)	特殊勤務 手当 (千円)	夜間勤務 手当 (千円)	時間外勤務 手当 (千円)	休日勤務 手当 (千円)	管理職員 特別勤務 手当 (千円)	管理職 手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	住居手当 (千円)	宿日直 手当 (千円)	初任給 調整 手当 (千円)	合計 (千円)
	本年度	5,898	8,109	29,289	4,162	26,836	636	0	2,790	57,884	46,626	1,866	5,151	9,123	198,370
	前年度	5,226	7,708	26,955	3,508	23,050	500	0	2,994	57,459	44,662	2,126	4,732	16,482	195,402
	比較	672	401	2,334	654	3,786	136	0	△ 204	425	1,964	△ 260	419	△ 7,359	2,968

イ 会計年度任用職員

区分	職員数		給与費				法定福利費 (千円)	合計 (千円)
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	手当 (千円)	計 (千円)		
本年度	0	0 (71)	137,235	0	10,955	148,190	22,033	170,223
前年度	0	0 (71)	134,607	0	10,139	144,746	21,580	166,326
比較	0	0 (0)	2,628	0	816	3,444	453	3,897

※ ( ) 内は、再任用短時間勤務職員及び会計年度任用の職を占める職員であって、その1週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員の外書き

職員手当の内訳	区分	扶養手当 (千円)	通勤手当 (千円)	特殊勤務 手当 (千円)	夜間勤務 手当 (千円)	時間外勤務 手当 (千円)	休日勤務 手当 (千円)	管理職員 特別勤務 手当 (千円)	管理職 手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)	住居手当 (千円)	宿日直 手当 (千円)	初任給 調整 手当 (千円)	合計 (千円)
	本年度	0	0	0	0	0	0	0	0	10,955	0	0	0	0	10,955
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	10,139	0	0	0	0	10,139
	比較	0	0	0	0	0	0	0	0	816	0	0	0	0	816

2 給料及び職員手当の増減額の明細

区分	増減額（千円）	増減事由別内訳（千円）		説明	備考
給料	5,217	給与改定に伴う増減分	697		
		昇給に伴う増加分	2,728		
		その他の増減分	1,792	職員の異動等	
職員手当	3,784	制度改正に伴う増減分	2,338		
		その他の増減分	1,446	職員の異動等	

### 3 給料及び職員手当の状況

#### ア 職員1人当たり給与

区分		行政職給料表適用		教育職給料表 適用職員	医療職給料表 (一)適用職員	医療職給料表 (二)適用職員	医療職給料表 (三)適用職員
		一般行政職	技能労務職				
令和 5年2月1日 現在	平均給料月額(円)	297,709			480,600	313,275	296,021
	平均給与月額(円)	364,904			993,441	379,400	376,360
	平均年齢月数(歳)	45.8			52.3	47.4	46.6
令和 4年2月1日 現在	平均給料月額(円)	275,120			481,485	309,191	297,536
	平均給与月額(円)	316,383			952,222	356,980	355,692
	平均年齢月数(歳)	43.1			53.3	46.5	46.5

#### イ 初任給

区分		行政職給料表適用		教育職給料表 適用職員	医療職給料表 (一)適用職員	医療職給料表 (二)適用職員	医療職給料表 (三)適用職員
		一般行政職	技能労務職				
鴨川市	高校卒	(円) 158,900	(円)	短大卒 (円)	(円)	短大卒 (円) 173,700	旧中5卒 (円) 175,600
	大学卒	185,200			327,000	191,500	218,600
国	高校卒	154,600		短大卒		短大卒 170,500	旧中5卒 169,900
	大学卒	185,200			253,600	191,500	216,000

ウ 級別職員数

区分		行政職給料表適用職員				教育職給料表 適用職員		医療職給料表 (一) 適用職員		医療職給料表 (二) 適用職員		医療職給料表 (三) 適用職員	
		一般行政職		技能労務職		職員数 (人)	構成比 (%)	職員数 (人)	構成比 (%)	職員数 (人)	構成比 (%)	職員数 (人)	構成比 (%)
		職員数 (人)	構成比 (%)	職員数 (人)	構成比 (%)								
令和 5年2月1日  現在	7級	1	9.1										
	6級	1	9.1										
	5級	1	9.1						5	41.7	1	2.6	
	4級	1	9.1						2	16.7	6	15.8	
	3級							2	25.0	1	8.3	4	10.5
	2級	5	45.4					3	37.5	4	33.3	25	65.8
	1級	2	18.2					3	37.5			2	5.3
	計	11	100.0					8	100.0	12	100.0	38	100.0
令和 4年2月1日  現在	7級												
	6級	1	10.0										
	5級	2	20.0						5	41.7	2	5.5	
	4級								2	16.7	6	16.7	
	3級							1	14.3	1	8.3	4	11.1
	2級	5	50.0					4	57.1	4	33.3	23	63.9
	1級	2	20.0					2	28.6			1	2.8
	計	10	100.0					7	100.0	12	100.0	36	100.0

(級別の基準となる職務)

区分	行政職給料表 適用職員	教育職給料表 適用職員	医療職給料表(一) 適用職員	医療職給料表(二) 適用職員	医療職給料表(三) 適用職員
7級	事務長、主幹				
6級	次長				
5級	係長、主査			技師長、係長	看護師長 保健師長
4級	副主査			主任技師、主査	看護師長、主任看護師 主任保健師、主査
3級	主任主事、主任技師		病院長、医療参事	技師	主任看護師、主任保健師 主任准看護師、看護師、保健師
2級	主事、技師		副院長、医長	技師	看護師、准看護師 保健師
1級	主事、技師		医師	技師	准看護師

エ 昇給

区分		合計	行政職給料表適用		教育職給料表 適用職員	医療職給料表 (一)適用職員	医療職給料表 (二)適用職員	医療職給料表 (三)適用職員	
			一般行政職	技能労務職					
本年度	職員数 (A) (人)	70	11			7	13	39	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	54	10			4	7	33	
	号給数別内訳	1号給 (人)	1						1
		2号給 (人)							
		3号給 (人)	1					1	
		4号給 (人)	52	10			4	6	32
		5号給 (人)							
		6号給 (人)							
		7号給 (人)							
		8号給 (人)							
比率 (B) / (A) (%)	77.1	90.9			57.1	53.8	84.6		
前年度	職員数 (A) (人)	70	10			8	12	40	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	61	10			4	12	35	
	号給数別内訳	1号給 (人)	8				2	5	1
		2号給 (人)	1						1
		3号給 (人)							
		4号給 (人)	52	10			2	7	33
		5号給 (人)							
		6号給 (人)							
		7号給 (人)							
		8号給 (人)							
比率 (B) / (A) (%)	87.1	100.0			50.0	100.0	87.5		

オ 期末手当・勤勉手当

区分	支給期別支給率		支給率計（月分）	職務上の段階、職務の 級等による加算措置	備考
	6月（月分）	12月（月分）			
本年度	2.20	2.20	4.40	有	
前年度	2.15	2.15	4.30	有	
国の制度	2.20	2.20	4.40	有	

カ 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区分	20年勤続の者 （月分）	25年勤続の者 （月分）	35年勤続の者 （月分）	最高限度 （月分）	その他の 加算措置等	備考
支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (2%~20%加算)	
国の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (2%~45%加算)	

キ 特殊勤務手当

区分	全職種
給料総額に対する比率 (%) (令和5年2月1日現在)	12.14
支給対象職員の比率 (%) (令和5年2月1日現在)	68.12
代表的な特殊勤務手当の名称	医療危険手当、夜間看護手当

ク その他の手当

区分	国の制度との異同	差異の内容
扶養手当	同	
住居手当	同	
通勤手当	異	・ 乗用車等を使用する場合 単価及び支給限度額が国と異なる

4) 債務負担行為に関する調書

事項	限度額	前年度末までの支払義務発生（見込）額		当該年度以降の支払義務発生予定額		左の財源内訳
		期間	金額	期間	金額	医業収益
院内医療ガス設備に係る賃借料 令和元年12月議決	千円 79,200	令和2年度から 令和4年度まで	千円 15,068	令和9年度まで	千円 64,132	千円 64,132
合併処理浄化槽設備の保守に係る委託料 令和4年12月議決	827			令和5年度まで	827	827
通信等施設設備及び事務機器等の保守に係る委託料 令和4年12月議決	17,428			令和5年度まで	17,428	17,428
医療機器等の保守及び業務支援に係る委託料 令和4年12月議決	13,051			令和5年度まで	13,051	13,051
事務機器等に係る賃借料 令和4年12月議決	3,042			令和5年度まで	3,042	3,042

5) 令和5年度鴨川市病院事業予定貸借対照表  
(令和6年3月31日)

		資 産 の 部		千円	
		千円	千円	千円	千円
1	固 定 資 産				
(1)	有 形 固 定 資 産				
	イ 土 建 物		16,382		
	ハ 建 物 附 属 設 備	2,281,883			
	ニ 構 築 物	<u>△ 237,479</u>	2,044,404		
	ホ 器 械 備 品	41,282			
	ヘ 車 両 運 搬 具	<u>△ 38,752</u>	2,530		
	ト リ ー ス 資 産	309,365			
	チ 建 設 仮 勘 定	<u>△ 78,294</u>	231,071		
	有 形 固 定 資 産 合 計	462,214			
	(2) 投 資 所 の 他 資 産	<u>△ 346,254</u>	115,960		
	イ 長 期 前 払 消 費 税	5,835			
	投 資 所 の 他 資 産	<u>△ 3,914</u>	1,921		
	固 定 資 産 合 計	163,463			
	(1) 現 金 預 金	<u>△ 89,531</u>	73,932		
	(2) 未 収 金		0		
	(3) 貯 蔵 品			2,486,200	
	(4) そ の 他 流 動 資 産 合 計				
2	流 動 資 産				
(1)	現 金 預 金			525,833	
(2)	未 貸 倒 引 当 金		247,550		
(3)	貯 蔵 品		<u>△ 336</u>	247,214	
(4)	そ の 他 流 動 資 産 合 計			5,206	
	流 動 資 産 合 計			<u>700</u>	
					778,953
					<u>3,445,060</u>

	負	債	の	部		
	千円				千円	千円
3 固定負債						
(1) 企業債						
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債					1,746,552	
(2) リース債務					43,970	
(3) 引当金						
イ 修繕引当金					38,598	
固定負債合計						1,829,120
4 流動負債						
(1) 企業債						
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債					79,011	
(2) リース債務					29,962	
(3) 未払金					18,109	
(4) 引当金						
イ 賞与引当金					38,263	
流動負債合計						165,345
5 繰延収益						
(1) 長期前受金					412,003	
長期前受金収益化累計額					△ 139,730	
繰延収益合計						272,273
負債合計						2,266,738



## 令和5年度鴨川市病院事業会計予算の財務諸表に関する注記表

### 1 重要な会計方針

平成26年度から、改正後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成しています。

#### 【改正内容】

- ・「借入資本金」（＝企業債）を「負債」として計上
- ・適用が任意とされていた「みなし償却制度」を廃止
- ・計上が任意とされていた引当金の計上を義務化（要件に該当した場合）

#### (1) 借入資本金の表示区分の変更

借入資本金（企業債）は、民間の企業会計においては、社債又は借入金として負債に整理されているものですが、地方公営企業会計においては、昭和27年の地方公営企業法制定時から、自己資本金と並んで借入資本金として整理されています。これまで「負債」として整理すべきとの考えもありましたが、表示区分の変更は見送られてきた経緯があります。しかし、地方公営企業法施行令等の改正をもって、地方公営企業会計の「借入資本金」を「負債」に表示区分の変更をすることとなりました。

#### (2) 補助金等により取得した固定資産の償却制度の変更

任意適用が認められていました、「みなし償却制度」は廃止され、償却資産の取得又は改良に充てるために交付された補助金等は、その交付相当額を長期前受金として負債の部の繰延収益に計上した上で、減価償却に応じて順次収益化することとなりました。

「みなし償却制度」とは、地方公営企業の固定資産で資本的支出に充てるために交付された補助金等をもって取得したものについては、当該固定資産の取得に要した価額からその取得のために充てた補助金等の金額に相当する金額を控除した金額を帳簿原価等とみなして、各年度の減価償却額を算出することができる制度です。

#### (3) 引当金の計上方法

##### ①退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備え、退職組合に加入し負担金として対応しており、将来的に追加負担が見込まれないため計上しません。ただし、追加的に引当の必要が生じると見込まれる場合については、状況に応じて積み立てることとしています。

##### ②賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上していません。

### ③貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上しています。

## (4) 固定資産の減価償却の方法

### ①有形固定資産

・建物、建物附属設備、構築物	定額法
・器械備品、車両運搬具	定率法
・主な耐用年数	
建物	14～47年
建物附属設備	6～15年
構築物	10～60年
器械備品	5～10年
車両運搬具	5～6年

## 2 その他の注記

### (1) 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととします。

### (2) みなし償却制度の廃止に伴う経過措置

平成26年3月31日における償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額については、平成26年3月31日以前に取得又は改良した資産で、取得又は改良した資産と補助金等との対応関係を個別に把握できる資産を除いたすべての資産（補助金等を充てずに取得又は改良したことが明らかな資産を除く。）を対象とした按分等の方法を用いて合理的に整理しています。

6) 令和4年度鴨川市病院事業予定損益計算書  
 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

	千円	千円	千円	千円
1 医 業 収 益				
(1) 入 院 収 益	655,718			
(2) 外 来 収 益	363,924			
(3) そ の 他 医 業 収 益	77,113			
(4) 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	63,929			
(5) 居 宅 介 護 支 援 収 益	17,859			
(6) 訪 問 介 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	16,798			
(7) 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 収 益	1,323			
(8) 他 会 計 負 担 金	36,294			
(9) 訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 収 益	1,638	1,234,596		
	<hr/>			
2 医 業 費 用				
(1) 給 与 費	736,318			
(2) 材 料 費	77,658			
(3) 経 費	177,396			
(4) 減 価 償 却 費	190,831			
(5) 資 産 減 耗 費	643			
(6) 研 究 研 修 費	67,428	1,250,274		
	<hr/>			
医 業 損 失				△ 15,678
3 医 業 外 収 益				
(1) 受 取 利 息 配 当 金	1			
(2) 他 会 計 補 助 金	114,436			
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	20,190			

(4) その他医業外収益	8,147		
(5) 負担金交付金	34,118	176,892	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	7,624		
(2) その他医業外費用	52,594	60,218	116,674
経常利益			100,996
6 特別利益			
(1) その他特別利益	0	0	
7 特別損失			
(1) その他特別損失	0	0	0
当年度純利益			100,996
前年度繰越欠損金			61,320
当年度未処分利益剰余金			39,676

7) 令和4年度鴨川市病院事業予定貸借対照表  
(令和5年3月31日)

		資 産 の 部			
		千円	千円	千円	千円
1	固 定 資 産				
(1)	有 形 固 定 資 産				
	イ 土 建 物		16,382		
	ハ 建 物 附 属 設 備	2,281,883			
	ニ 構 築 物	△ 183,360	2,098,523		
	ホ 器 械 備 品	41,282			
	ヘ 車 両 運 搬 具	△ 38,618	2,664		
	ト リ ー ス 資 産	309,365			
	チ 建 設 仮 勘 定 資 産	△ 52,875	256,490		
	有 形 固 定 資 産 合 計	452,394			
	(2) 投 資 所 他 資 産	△ 290,180	162,214		
	イ 長 期 前 払 消 費 税	4,120			
	投 資 所 他 資 産 合 計	△ 3,914	206		
	固 定 資 産 合 計	163,463			
		△ 59,569	103,894		
			0	2,640,373	
2	流 動 資 産				
(1)	現 金 預 金			434,707	
(2)	未 貸 倒 引 当 金		244,414		
(3)	貯 蔵 品		△ 336	244,078	
(4)	そ の 他 流 動 資 産			5,206	
	流 動 資 産 合 計			700	
					684,691
					<u>3,529,741</u>

	負	債	の	部		
	千円				千円	千円
3 固定負債						
(1) 企業債						
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債					1,812,963	
(2) リース債務					73,932	
(3) 引当金						
イ 修繕引当金					38,598	
固定負債合計						1,925,493
4 流動負債						
(1) 企業債						
イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債					70,890	
(2) リース債務					29,962	
(3) 未払金					35,109	
(4) 引当金						
イ 賞与引当金					38,263	
流動負債合計						174,224
5 繰延収益						
(1) 長期前受金					412,003	
長期前受金収益化累計額					△ 124,632	
繰延収益合計						287,371
負債合計						2,387,088



令和5年度鴨川市病院事業会計予算実施計画に関する内訳書  
収益的収入及び支出

収

入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	節		説明
				区分	金額	
1	事業収益		1,385,337			
	1	医業収益	1,238,587			
		1 入院収益	717,796	入院収益	717,796	入院患者収益
		2 外来収益	342,103	外来収益	342,103	外来患者収益
		3 その他医業収益	48,006	室料差額収益	16,390	個室使用料等
				公衆衛生活動収益	11,078	集団健康診断料、予防接種料等
				医療相談収益	5,171	一般健康診断料、人間ドック利用料等
				受託検査施設利用収益	363	受託検査等
				その他医業収益	15,004	文書料等
		4 訪問看護ステーション収益	62,266	訪問看護ステーション収益	62,266	訪問看護ステーション利用料
		5 居宅介護支援収益	13,187	居宅介護支援収益	13,187	居宅介護支援利用料
		6 訪問介護ステーション収益	16,132	訪問介護ステーション収益	16,132	訪問介護ステーション利用料
		7 地域包括支援センター収益	1,374	地域包括支援センター収益	1,374	介護予防支援収益
		8 訪問リハビリテーション収益	1,429	訪問リハビリテーション収益	1,429	訪問リハビリテーション利用料
		9 他会計負担金	36,294	一般会計負担金	36,294	救急告示病院分の繰入
	2	医業外収益	146,750			
		1 受取利息配当金	1	預金利息	1	
		2 他会計補助金	104,819	一般会計補助金	104,019	不採算地区病院分等の繰入
				国民健康保険特別会計補助金	800	補助金(運営費分)
		3 長期前受金戻入	15,098	長期前受金戻入	15,098	
		4 負担金交付金	16,800	負担金	16,800	地域包括支援センター運営負担金等
		5 その他医業外収益	10,032	その他医業外収益	10,032	売店売上代等

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	節		説明
				区分	金額	
1 事業費			1,385,337			
	1 医業費用		1,316,785			
		1 給与費	778,768	給料	273,741	
				医師給	40,804	医師給与(7人分)
				看護師給	140,075	看護師給与(39人分)
				医療技術員給	64,682	医療技術員給与(18人分)
				事務員給	28,180	事務員給与(7人分)
				手当等	179,980	
				医師手当等	51,082	扶養手当及び宿日直手当等
				看護師手当等	74,354	扶養手当及び時間外勤務手当等
				医療技術員手当等	30,362	扶養手当及び時間外勤務手当等
				事務員手当	13,227	扶養手当及び時間外勤務手当等
				会計年度任用職員手当	10,955	会計年度任用職員期末手当
				報酬	137,360	会計年度任用職員報酬等
				法定福利費	149,244	職員共済組合負担金等
				賞与引当金繰入額	38,443	賞与のための引当(4月相当分)
		2 材料費	77,348	薬品費	24,724	医薬品購入費
				診療材料費	48,126	衛生材料費等
				給食材料費	4,429	給食材料費等
				医療消耗備品費	69	医療機器消耗備品費
		3 経費	225,834	厚生福利費	121	県互助会負担金
			旅費交通費	7,118	非常勤医師交通費等	

		職員被服費	243	職員被服費
		消耗品費	4,140	消耗品費
		消耗備品費	9,894	消耗備品費
		光熱水費	26,657	電気・ガス・水道料等
		燃料費	2,629	公用車燃料費等
		印刷製本費	222	検査用紙等印刷費
		修繕費	10,581	病院施設設備等修理費
		保険料	1,752	建物損害保険料等
		賃借料	38,288	電算機器賃借料等
		通信運搬費	5,164	電話代等
		委託料	112,228	給食業務委託料等
		交際費	50	医師派遣医局交際費
		諸会費	4,847	医師会会費等
		貸倒引当金繰入額	108	未収金に係る引当
		雑費	1,792	医師会レセプト手数料等
4 減価償却費	165,708	建物減価償却費	54,119	建物減価償却費
		建物附属設備減価償却費	134	建物附属設備減価償却費
		構築物減価償却費	25,419	構築物減価償却費
		器械備品減価償却費	56,074	器械備品減価償却費
		リース資産減価償却費	29,962	リース資産減価償却費
5 資産減耗費	1,485	たな卸資産減耗費	702	薬品廃棄等
		固定資産除却費	783	医療器械等除却費
6 研究研修費	67,642	図書費	607	専門誌購入費
		旅費	330	研修交通費等
		研究雑費	144	研究会参加費等
		謝金	66,561	非常勤医師等謝金

2 医業外費用		68,552			
	1 支払利息及び企業債取扱諸費	7,891	企業債利息	7,591	
			一時借入金利息	300	
	2 その他医業外費用	56,747	その他医業外費用	2,258	売店販売品購入費等
			雑支出	28,603	消費税精算による雑支出
			長期前払消費税償却	25,786	
			その他雑損失	100	
3 消費税及び地方消費税	3,914	消費税及び地方消費税	3,914	確定消費税納付代	

資本的收入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	節		説明
				区分	金額	
1 資本的收入			48,269			
	1 企業債		12,600			
		1 企業債	12,600	企業債	12,600	企業債借入予定額
	2 出資金		35,669			
		1 出資金	35,669	出資金	35,669	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	節		説明
				区分	金額	
1 資本的支出			116,535			
	1 建設改良費		45,644			
		1 有形固定資産購入費	45,644	医療器械等購入費	12,685	医療機器等購入予定額
				リース資産購入費	32,959	病院什器類一式等
	2 企業債償還金		70,891			
1 企業債償還金		70,891	企業債償還金	70,891	借入企業債償還金	

# 鴨川市立国保病院経営強化プラン

## 骨子（案）

2022 年度(令和4年度)～2027 年度(令和9年度)

鴨川市立国保病院

## 目次

### 第1章 はじめに

- 1 経営強化プラン策定の背景
- 2 計画の対象期間
- 3 地域医療構想について

### 第2章 病院の概要

- 1 鴨川市立国保病院の概要

### 第3章 経営強化プランの内容

- 1 役割・機能の最適化と連携の強化
  - (1) 地域医療構想等を踏まえた病院の果たすべき役割・機能
  - (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
  - (3) 機能分化・連携強化
  - (4) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標
  - (5) 一般会計負担の考え方
  - (6) 住民の理解のための取組
- 2 医師・看護師等の確保と働き方改革
  - (1) 医師・看護師等の確保
  - (2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保
  - (3) 医師の働き方改革への対応
- 3 経営形態の見直し
- 4 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
- 5 施設・設備の最適化
  - (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
  - (2) DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 6 経営の効率化等
  - (1) 経営指標に係る数値目標
  - (2) 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標
  - (3) 目標達成に向けた具体的な取組
  - (4) 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画

# 第1章 はじめに

## 1 経営強化プラン策定の背景

総務省は令和4年3月に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（以下、「経営強化ガイドライン」といいます。）を新たに策定しました。

ガイドラインでは、地域の中で各公立病院が担うべき役割・機能を改めて見直し、明確化・最適化したうえで、病院間の連携を強化することが必要であるとされ、個々の公立病院が、持続可能となり、明確化・最適化した役割・機能を発揮し続けることができるよう、「経営強化」の取組を進めていくことが必要であるとされました。

そして、①役割・機能の最適化と連携の強化、②医師・看護師等の確保と働き方改革、③経営形態の見直し、④新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組、⑤施設・設備の最適化、⑥経営の効率化等を記載した「地方公共団体における公立病院経営強化プラン」を策定することが示されました。

国保病院は、こうしたことを踏まえ、「鴨川市立国保病院経営強化プラン」（以下、「経営強化プラン」といいます。）を策定します。

## 2 計画の対象期間

令和4年度から令和9年度まで

## 3 地域医療構想について

### (1) 国の考え方

高齢化が進展する中で質の高い医療を効率良く提供する医療提供体制を構築するため、団塊の世代が75歳を迎える2025年を目標年度とする「地域医療構想」が制度化され、2018年に4月から始まった第7次医療計画の一部として位置づけられています。

地域医療構想では、構想区域ごとに「地域医療構想調整会議」を設置し、医療関係者等の協議を通じて、地域の高齢化等の状況に応じた病床の機能分化と連携を進めていくこととされています。

### (2) 千葉県県の考え方

#### ①千葉県保健医療計画策定の趣旨

千葉県では、医療機関の適正な配置を図り、健康増進から疾病の予防、診断、治療、リハビリテーションに至る総合的な保健医療供給体制を確立するため、「千葉県保健医療計画」を策定し各種の保健医療施策を推進しています。

#### ②地域医療構想策定の趣旨

地域医療構想は、平成26年6月に公布された「地域における医療及び介護の総合的

な確保を推進するための関係法律（医療介護総合確保推進法）」により改正された医療法で新たに規定され、医療計画に位置付けられています。

平成37年（令和7年）に向けて、少子高齢化の進展が見込まれる中、限られた医療・介護資源を効果的・効率的に活用し、県民が地域において安心して質の高い医療・介護サービスが受けられるよう、医療機関の病床機能の分化と連携を推進することを目的として策定されたものです。

### (3) 鴨川市の考え方

病院経営強化プランの策定にあたっては、必要病床数等について千葉県保健医療計画との整合を図り、また、地域で担うべき機能や連携の在り方等について千葉県安房地域医療構想調整会議で関係者の理解を得ながら進めていくことが必要です。

## 第2章 病院の概要

### 1 国保病院の概要

- 1 施設名 鴨川市立国保病院
- 2 開設者 鴨川市長
- 3 所在地 千葉県鴨川市宮山233番地
- 4 診療科目 14科  
内科、呼吸器内科、循環器内科、神経内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科
- 5 病床数 70床（一般病床52床、療養病床18床（医療10床、介護8床））

## 第3章 経営強化プランの内容

### 1 役割・機能の最適化と連携の強化

#### (1) 地域医療構想等を踏まえた病院の果たすべき役割・機能

安房医療圏の状況を踏まえた病床の機能分化及び連携を図ります。  
・ 介護療養病床の医療病床への転換

#### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

国保病院の機能を活かした地域包括ケアシステムの構築を図ります。  
・ 救急及び緊急時の受入体制の整備  
・ 高度急性期病院からの受入体制整備  
・ 在宅医療に関する国保病院の役割  
・ 市民の健康づくりの強化

・医療・福祉・介護の人材の確保と育成

### (3)機能分化・連携強化

病床の稼働率を維持し、持続可能な医療提供体制を確保するため地域における機能分化・連携強化を図ります。

- ・急性期機能を担う医療機関との機能分化・連携強化
- ・公立病院間の機能分化・連携強化
- ・房総メディカルアライアンスとの機能分化・連携強化

### (4) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

- ① 医療機能に係るもの
- ② 医療の質に係るもの
- ③ 連携の強化等に係るもの
- ④ その他必要な数値目標

### (5) 一般会計負担の考え方

一般会計から病院事業への経費負担については、国の繰出基準を基本とし、病院の経営状況を見ながら決定します。

### (6) 住民の理解のための取組

市の広報誌や病院の広報紙、ホームページなどの媒体を利用した情報提供、市民等を対象とした公開講座の開催により理解の醸成を図ります。

## 2 医師・看護師等の確保と働き方改革

### (1) 医師・看護師等の確保

現在医師の派遣を受けている医療機関及び千葉県に対して派遣継続を依頼するとともに、将来的な医師の確保に向けた取り組みを行います。

看護師等については、勤務環境改善、研修の充実などに取り組めます。

### (2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保

引き続き、初期臨床研修医の受け入れを行い、若手医師の確保を図るとともに、指導医の確保・育成に努めます。

また、国保病院の特性を活かして地域医療を学ぶ環境を整備し、将来、国保病院に研修医や常勤医として戻ってきてもらえるような動機づくりを行います。

### (3) 医師の働き方改革への対応

当直について、派遣を受けやすい環境を整え、医師の確保に努めます。  
また、ワークシェアやタスクシフトにより、医師に負担が集中しない体制の構築に努めます。

## 3 経営形態の見直し

現状の経営形態で経営改善に取り組んでいきますが、将来を見据え、より柔軟に医療環境の変化に対応するため、地方公営企業法の全部適用、地方独立行政法人化や指定管理者制度への移行など経営形態の見直しなども視野に入れ検討します。

## 4 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

新興感染症の感染拡大時において、今回の新型コロナウイルス感染症で行ったように後方支援病院としての役割を果たせるよう体制を維持します。また、感染症拡大時に円滑な診療が可能となるようオンライン診療の導入について検討します。

さらに、感染防護具等の必要な備品の備蓄や感染拡大時における医療人材の確保等について考慮します。

## 5 施設・設備の最適化

### (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

施設を長期間にわたり良好に使用できるよう定期的な保守管理に努めるとともに、建物の状況に応じて維持管理を行います。

設備機器については、定期的な保守管理を行いながら使用することを基本とし、今後の医療提供体制を見通したうえで機器の更新、導入を行います。

### (2) DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

国保病院はデータとデジタル技術の活用を推進し、医療と業務プロセスの変革を図ります。

- ① 令和4年度までに国保病院で整備している主なデジタル化
- ② 今後のDX推進への取り組み
  - (ア)電子カルテシステムのバージョンアップ
  - (イ)オンライン診療システム導入
  - (ウ)マイナンバーへの対応
  - (エ)セキュリティ対策

## 6 経営の効率化等

### (1) 経営指標に係る数値目標

<p>① 収支改善に係るもの          経常収支比率、医業収支比率、修正医業収支比率、不良債務比率、資金不足比率、累積欠損金比率</p> <p>② 収入確保に係るもの          1日当たり入院患者数、1日当たり外来患者数、入院患者1人1日当たり診療収入、外来患者1人1日当たり診療収入、医師1人当たり入院診療収入、医師1人当たり外来診療収入、看護師1人当たり入院診療収入、看護師1人当たり外来診療収入</p> <p>③ 経費削減に係るもの          材料費、薬品費、委託料、職員給与費、減価償却費等の対修正医業収益比率、医薬品の一括購入による削減、100床当たり職員数、後発医薬品の使用割合</p> <p>④ 経営の安定性に係るもの          医師・看護師・その他医療従事者数、純資産の額、現金保有残高、企業債残高</p>
---

<p>(2) 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標</p> <p>医師・看護師の増員により医療提供体制の充実を図るとともに、引き続き病院改革に取り組み、経常収支比率の黒字を維持したまま、修正医業収支比率もさらに改善していきます。</p>
---

<p>(3) 目標達成に向けた具体的な取組</p> <p>① 病床稼働率の維持</p> <p>② 外来患者数の増加</p> <p>③ 人件費の抑制</p> <p>④ 経費の削減</p> <p>⑤ 救急体制の整備</p> <p>⑥ 総合診療を中心とした診療体制の構築</p> <p>⑦ 研修医等の指導体制の強化</p> <p>⑧ 一般会計からの適正な繰入</p> <p>⑨ 運営協議会の開催</p>
--

<p>(4) 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画</p> <p>・各年度の収支計画及び各年度における目標数値を設定します。</p> <p>◆収益的収支 (千円)</p> <p>◆資本的収支 (千円)</p>
---

## 鴨川市立国保病院の病床機能の転換について

## 1 地域医療構想調整会議に示した病床機能

地域医療構想の実現に向け、急性期病床を減床し、安房保健医療圏で不足している回復期病床を増床（52床）するとともに、高齢化率が高い中、介護療養病床（8床）及び医療療養病床（10床）を介護療養病床の廃止期限の令和5年度末までに介護医療院を視野に転換を検討していくこととしている。

## 2 病床の転換状況

## (1) 急性期から回復期への転換

急性期病床52床を回復期に位置付けられる「地域包括ケア病床」に転換を図った。

	急性期	回復期	慢性期	合計
	52	0	18	70
平成31年2月	44	8	18	70
令和元年5月	36	16	18	70
令和元年11月	28	24	18	70
令和2年2月	20	32	18	70
令和2年6月	0	52	18	70

## (2) 介護医療院への転換

介護医療院への転換は行っていない。

## 3 病床機能転換についての具体的な対応方針（案）

令和5年度末で廃止される介護療養病床（8床）について、回復期病床（地域包括ケア病床）への転換を図る。

現	一般病床	療養病床	合計
	回復期 (地域包括ケア病床) 52床	慢性期 (医療10床+介護8床) 18床	



案	一般病床	療養病床	合計
	回復期 (地域包括ケア病床) 60床	慢性期 (医療10床) 10床	

(1) 地域医療構想の実現

安房保健医療圏では2025年度において回復期病床の不足が見込まれることから、地域医療構想の実現に向けて、慢性期病床から回復期病床への転換を図りたいもの。

(2) 救急医療機能の充実

鴨川市立国保病院では救急患者の受入れが増加しており、今後も可能な範囲で受け入れを行うためには、医療病床を確保したいもの。

(3) 新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた医療提供体制の構築

新型コロナウイルス感染症への対応では、重点医療機関及び指定感染症医療機関の後方支援医療機関として、新型コロナウイルス感染症の回復患者の転院等の受け入れを行うとともに、発熱外来を開設し市内外の患者の検査、診察を行ってきました。今後、新興感染症等の感染拡大時においても同様の役割を担っていくために、医療病床を確保したいもの。

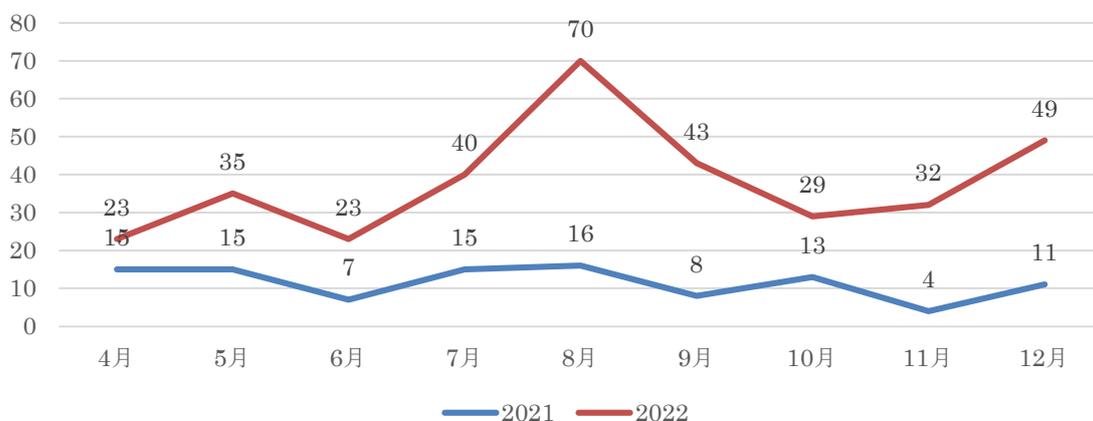
■地域医療構想に示す必要病床数と病院機能報告による病床数の比較 (単位：床)

安房地域	必要病床数 (R7) A		病院機能報告 (H26) B		病院機能報告 (R3) C		B-A	C-A
高度急性期	308		159		141		▲149	▲167
急性期	602		1,264		1,111		662	509
回復期	358		99		202		▲259	▲156
慢性期	373		672		496		299	123
休棟等					180			
合計	1,641		2,194		2,130		553	489

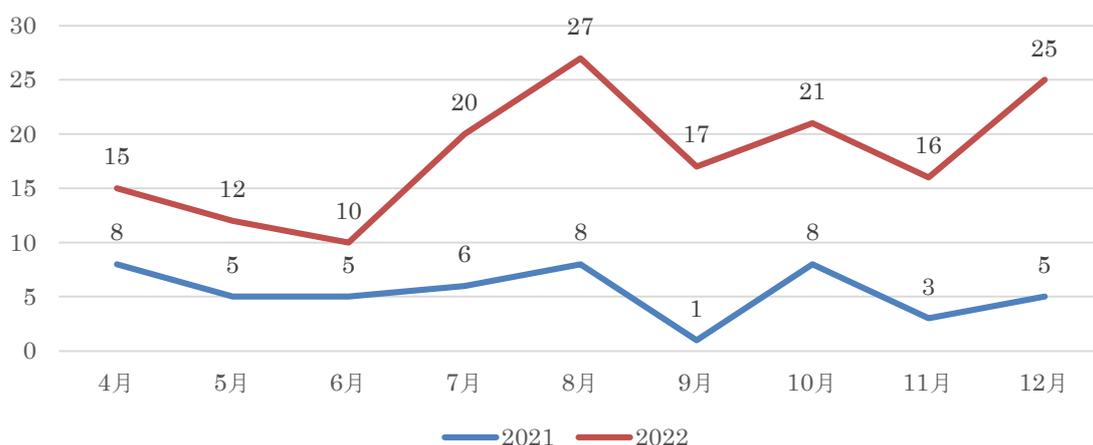
■新型コロナウイルス感染症隔離後患者の受入状況 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
R4	3	4	1	1	8	7	1	3	3	8	42

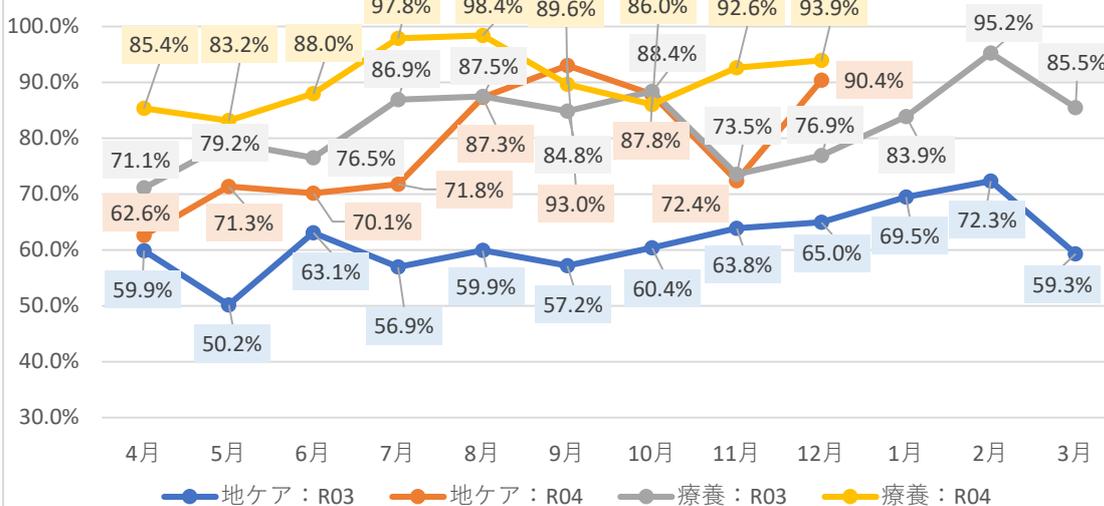
### 救急隊受入総数



### 救急入院



### 病床別稼働率





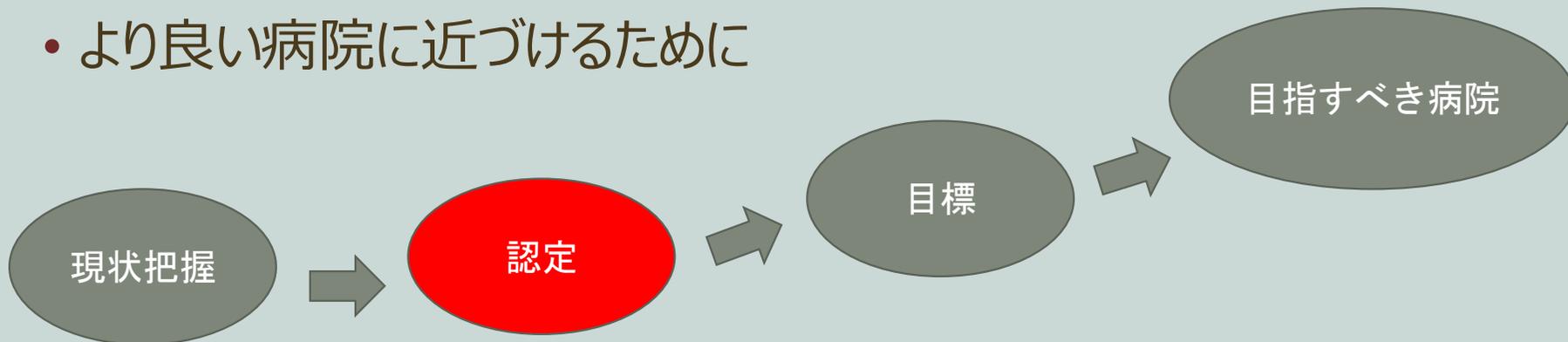
# 病院機能評価

鴨川市立国保病院  
2023.2.9 丸山陽子

# 病院機能評価の意義



- 認定病院は、より良い病院づくりを目指して成長し続ける病院
- より良い病院に近づけるために

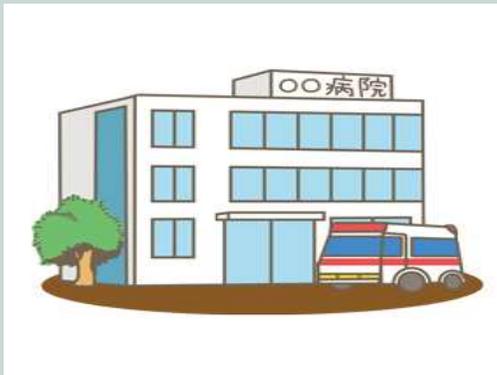


# 病院機能評価の効果



## 現状の客観的把握

改善すべき課題が明確になる



## 具体的な改善目標の設定

効果的な質改善活動に取り組める



## 改善のきっかけづくり

受審準備を進めることが医療の質向上とサービスの効果的な改善になる

## 職員の改善意欲の醸成

課題に対する共通認識を持つことで各部門での改善意欲が向上して主体的な取り組みが期待できる



# 医療の質とは



- 医療の質の定義

個人および集団を対象とした医療サービスにより、健康に望ましい結果を導く可能性を高める度合いであり、かつそれが最新の専門的知識と矛盾しない程度のものになっていること

(IOM 米国医学研究所, 1990)

# 医療の質の評価 病院機能評価の考え方



評価 = 測定 × 価値づけ

- ある事象の価値について **基準に基づいて** 判断を下すこと  
(あるべき姿)
- 生産者 「評価」によって価値が定まると、**価値を高めようとする対処行動**が起きる⇒改善
- 消費者 **より価値の高いものを得ようとする**⇒選択



# 概要

病院機能評価の変遷

第一世代→第二世代→第三世代

機能種別

**一般病院 1**・一般病院 2・一般病院 3・リハビリテーション病院：慢性期  
病院・精神科病院。緩和ケア病院



# 評価判定と認定



S  
秀でている

- ・ 数値・指標など定量的な品質特性を測定  
クリニカルインディケーターな統計的に解析
- ・ 定性的な品質特性の評価  
スタンダードへの適合度による評価

A  
適切に行われている

B  
一定の水準に達している

C  
一定の水準に達していない



【改善要望事項】

# 評価対象領域



第1領域	第2領域	第3領域	第4領域
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院組織の基本的姿勢</li><li>・ 患者の安全確保等に向けた病院組織の検討内容、意思決定</li></ul>	病院組織として決定された事項の、診療・ケアにおける確実に安全な実践	確実に安全な診療・ケアを実践するうえで求められる機能の各部門における発揮	良質な医療を実践するうえで基盤となる病院組織の運営・管理状況